

ワークショップ 16:20-17:00 (第1 Zoom 会場)

チーフレジトラブルシューティング

○ 近藤敬太(藤田医科大学総合診療プログラム指導医) 日下伸明(亀田総合病院救命救急科) 上田一輝(益田地域医療センター医師会病院内科)

【新年度よりチーフレジデントを務める皆さん全員が対象です】

チーフレジデントに求められるものは、管理(administrating),教育(education),メンターシップ(mentoring),カウンセリング(counseling)など多岐に渡ります。日常の臨床も忙しい中、これらの能力を複合的に合わせながら研修医や研修医を取り巻く環境などの問題に対して解決策を考えなければなりません。また、この解決策というのは同じ問題であっても、初期研修医になったばかりの4月と初期2年目がおわる3月に起こったものとは解決の方法やアプローチも異なるかもしれません。また、施設の状況や業務内容といった背景も異なるため、解決したい問題に対して決まった解決策を見つけることが難しい、もしくは一つじゃないことも多いでしょう。

当日のワークショップではチーフレジデントが出会うよくある問題を提示します。チーフ以外の業務とどのように折り合いをつけるかなども含めて、解決策を次期チーフと共にアイデアを出し合いながら、理想的な形を模索しましょう！少人数でのディスカッションを行う予定です。

近藤 敬太 (藤田医科大学 総合診療プログラム指導医)

愛知県豊田市出身。2014年愛知医科大学卒業、トヨタ記念病院にて初期研修、藤田医科大学 総合診療プログラムにて後期研修、研修中に藤田医科大学病院、聖路加国際病院などで勤務し現職。2019年に半田中央病院の立ち上げに携わり、現在は豊田地域医療センター在宅部門にて約500名の患者に対し在宅医療を提供している。

日下 伸明 (亀田総合病院 救命救急科)

2014年埼玉医科大学卒。亀田総合病院地域ジェネラリストプログラム修了後、同院救命救急科後期研修、安房地域医療センターにて救急科・総合診療科で勤務。2019年に亀田総合病院救命救急科にてチーフレジデント制を導入しチーフレジデント業務を行なった。1-3次の救急診療を行いながら、週1回総合診療外来を行なっている。

上田 一輝 (益田地域医療センター医師会病院 内科)

2015年山梨大学卒。宇治徳洲会病院で初期研修終了後、救急総合診療科で後期研修。2019年度チーフレジデント。現在ゲネプロのRural Generalist Program Japanに所属し益田地域医療センター益田医師会病院内科で地域医療に従事。